



ほくほく通信 新年号



親交流会

コロナウイルス感染拡大防止の為、延期していた父親交流会ですが、12月11日(土)にようやく開催する事ができました。今回の交流会は、「我が家の子育て術」等、4つテーマを決め、それぞれ情報交換を行いました。初めは緊張が見られたお父様方でしたが、グループワークをする中で、活発に意見を交換する事ができました。参加いただいたお父様方にも好評をいただいたので、次年度もこうした場を作っていけたらと考えています。



所長あいさつ

武井 一仁

皆様、新年あけましておめでとうございます。北部地域療育センター所長の武井でございます。センターの職員を代表し新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中はセンターの運営にご理解とご協力を賜り本当にありがとうございました。

私事になりますがセンターでの勤務が丸三年となりました。

50歳の誕生日の翌日に着任しましたので、少々大袈裟ですが知命の年の運命を感じつつ療育センターの勤務が始まりました。

とは言え、天命を知るにはいまだ及ばずですが、コロナ禍といわれる今の世の中に何を求められているのか丁寧に答えを探していきたいと思ひます。新しい年も三密の許されない世の中が続くと思われませんが、センターの職員(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士、保育士、児童指導員、ソーシャルワーカー、管理栄養士、総務スタッフ)がそれぞれの専門性を活かし、子どもたちに気持ちの上では密着、密集して集学的療育を実践していきたいと思ひます。

本年もよろしくお願いいたします。

園長あいさつ

矢野 常治

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍が2年続き、人や場所、物事など、いろいろな面で意識しながら過ごすことが日常のようになってしまったと感じるこの頃です。コロナ禍前の生活がどのようなものだったか時々混乱するように感じています。この間、ご家族の皆様には多大なご理解ご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

通園では、できる限り通常の開催を検討しつつ、また行事などもできる限り通常開催できるように検討し実施してきました。それぞれ調整する場面はありましたが、コロナ禍でもお子さんの素敵な笑顔に出会うことのできた1年だったと思ひます。

新しい年を迎え、心配はぬぐえませんが、基本的な感染対策を継続しながら、お子さんの健やかな成長とご家族のご多幸を願い、一步一步お子さんの成長のお手伝いをさせていただきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ほくほく商店街 作品展 開催しました!



もうひとつのセンターのチームメンバーを紹介します

ボランティア紹介

シルバー人材



川崎市シルバー人材センターを通じて平成28年4月より現在までセンターの清掃メンテナンスを日常的にサポートして下さっている派遣の方々。現在は村上さんと紀古さんのお二人が時節柄毎日の落ち葉清掃に朝早くから活躍して下さっています。

おかげでセンターの外周は毎日気持ちの良いきれいな状態を保持しています。

朝は職員の私たちの出勤前からお見えくださり、半日の作業をお二人交替の体制で常にセンターの環境保持に尽力くださり、お二人も心強い北部地域療育センターのもう一つのチームメンバーです。



今年度も、コロナウイルス感染拡大防止の為、ほくほく祭りに代わり作品展を開催しました。今年度の作品展は、2階の待合スペースに「おうち時間を楽しく過ごそう」をテーマに、絵本の読み聞かせの色々な方法を紹介したり、家庭で作成できる、おもちゃや触遊びを紹介しました。

1階廊下には、通園クラスに通うお子さん達の制作物を展示しました。「商店街」をテーマに様々なお店が並び、とても見ごたえのある作品展となりました。



ばーばーたんぽぽ

